エコアクション２１
環境経営レポート

（2022年度）

【レポートの対象期間】:2022年7月～2023年6月

【第12版発行】:2023年11月9日

田中工業　株式会社

目次

表紙

目次

1.組織の概要（対象範囲含む） ・・・ P. 1

2. 環境経営方針 ・・・ P. 2

3.環境経営目標 ・・・ P. 3

4.環境経営計画 ・・・ P. 4

5.環境経営システム組織図 ・・・ P. 5

6. 環境経営目標の実績とその評価 ・・・ P. 6

7.環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の取組み ・・・ P. 7－ P. 8

8.年間の環境負荷の推移 ・・・ P. 9－ P. 10

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無 ・・・ P. 11

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示 ・・・ P. 12

１．組織の概要

1-1 事業者名及び代表者名

【事業所名】
田中工業株式会社

【代表者】
代表取締役　田中　徳秀

1-2 所在地・連絡先等

【本社】
●住所：　〒850-0874
長崎県長崎市魚の町3-14
●TEL：　095-801-0802
●FAX：　095-801-0803

【島原本店】
●住所：　〒859-1402
長崎県島原市有明町湯江乙2190-17
●TEL：　0957-68-2552
●FAX：　0957-68-3523、0957-68-5770(工務課)
●E-mail：　info@tanakakougyo.co.jp
●URL：http://www.tanakakoougyou.co.jp/

1-3 責任者及び事務局

●環境管理責任者：田中末喜（E-mail：info@tanakakougyo.co.jp）

●環境事務局：田中喜代枝（E-mail：k.tanaka@tanakakougyo.co.jp）

1-4 事業活動の内容

◎法面処理工事全般、土木工事一式、地質調査業務一式
【特定建設業】長崎県知事許可〈特－3　第8415号〉許可の有効期限：令和3年9月8日～令和8年9月7日
土木工事業、とび・土工工事業、建築工事業、内装仕上工事業、他計19工事業種

1-5 事業規模

活動規模	単位	2022年7月～2023年6月
工事等の件数	件	38
売上高	万円	109,556
従業員	人	49
事務所床面積（島原本店）	m^2	208
事務所床面積（本社）	m^2	145.33
倉庫床面積	m^2	50.8
資機材置場面積	m^2	1,500
工場・作業所等床面積	m^2	664

◆　創立年：平成５年8月2日
◆　資本金：3,200万円

1-6　対象範囲（認証・登録範囲）

■当社は、全組織・全活動（事業活動及び製品・サービス）を対象として、エコアクション２１に取り組み、環境経営システムを構築、運用維持します。

2. 環境経営方針

田中工業株式会社
環境経営方針

＜環境経営理念＞

最近の異常気象等の自然災害により、様々な諸問題が発生しています。
弊社では、そのような自然災害から人々の安全確保に寄与することで、地域が"安心できる生活"と"豊かな社会づくり"を目指して活動しています。豪雨による土砂災害や地球環境の保全など多くの問題に対する要求にお答えし災害におけるインフラ整備を軸として今後も地域の豊かな生活の向上と発展に貢献して参ります。自然環境との調和を図り、環境マネジメントシステムを常に改善していくことで、地球環境への負荷を低減、持続可能な社会づくりに努めていきます。

＜会社方針＞

職場環境と尊重

社員一人一人を中心とした企業を目指し、健康的で安全な働きやすい職場環境を確保するとともに、一人一人の人格と個性を尊重します。

環境問題への取り組み

常に環境マネジメントシステムを継続的に改善していくことで、地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規・その他当社の規律を遵守します
2. 従業員一人一人が省エネルギーを心掛け二酸化炭素排出量の削減に努めます
3. 資源利用の効率化を図り、廃棄物の発生抑制に努めます
4. 水使用量の削減、雨水等の利用に努めます
5. 使用資材の化学物質の適正管理に努めます
6. 安心で安全な施工管理を心掛け自然災害からお客様を守る為の行動を推進します

＜人と自然を大切にした事業活動＞

1. 新しい技術や工法を展開していくことで、低コスト・高品質なサービス提供に努めます
2. 地域への社会貢献活動として、地域の道路清掃美化活動を実施します
3. 山地災害情報の提供、治山施設・地すべり防止施設の点検・報告を実施します
4. 災害時における緊急出勤体制の構築として、災害緊急時に即時対応ができる体制を整えます

制定日：2012年7月1日
改定日：2019年7月1日

田中工業　株式会社
代表取締役　田中　徳秀

3.　環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の実績より以下のような目標を設定しました。
尚、目標の基準は2020年度の実績データを使用しています。

【環境負荷は2020年度の実績データを基準とし、毎年１%ずつ削減し３年間で３%削減します】

（年度は毎年7月から翌年6月とします。）

2020年度基準値より→			１%削減	２%削減	３%削減
取組項目	単位	2020年度（基準値） 2020年度売上高85990万円	2021年度	2022年度	2023年度（中期目標）
1，全社二酸化炭素排出量の削減	kg-co2	251,558	249,042	246,527	244,011
※年間売上高に基づく原単位	kg-co2/万円	2.925	2.896	2.867	2.837
1-①電力消費量の削減	kg-co2	9,810	9,712	9,614	9,516
※年間売上高に基づく原単位	kg-co2/万円	0.114	0.113	0.112	0.110
1-②化石燃料（ガソリン、軽油、灯油）	kg-co2	241,748	239,331	236,913	234,495
※年間売上高に基づく原単位	kg-co2/万円	2.811	2.783	2.755	2.727
2，廃棄物排出量削減及び省資源					
一般廃棄物排出量削減(総量)	kg	463.1	458.5	453.8	449.2
産業廃棄物排出量削減(総量)	再資源化率	100%維持	100%維持		
コピー用紙の年間使用量の削減	A4(枚)	8,000	7,920	7,840	7,760
	A3(枚)	15,000	14,850	14,700	14,550
3．総排水量の削減 水道水使用量の削減	㎥	543	538	532	527
4．自らが施工・提供するサービスに関する項目					
・施工時の緑化推進		—	目標設定せず、緑化推進に努めます		

備考：購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、下記の通りです。
※本社、建設現場：九州電力2019年度0.370kg-CO2/kWh
※島原本店：㈱アイ・グリッド・ソリューションズ2019年度 0.365kg-CO2/kWhを使用しています。

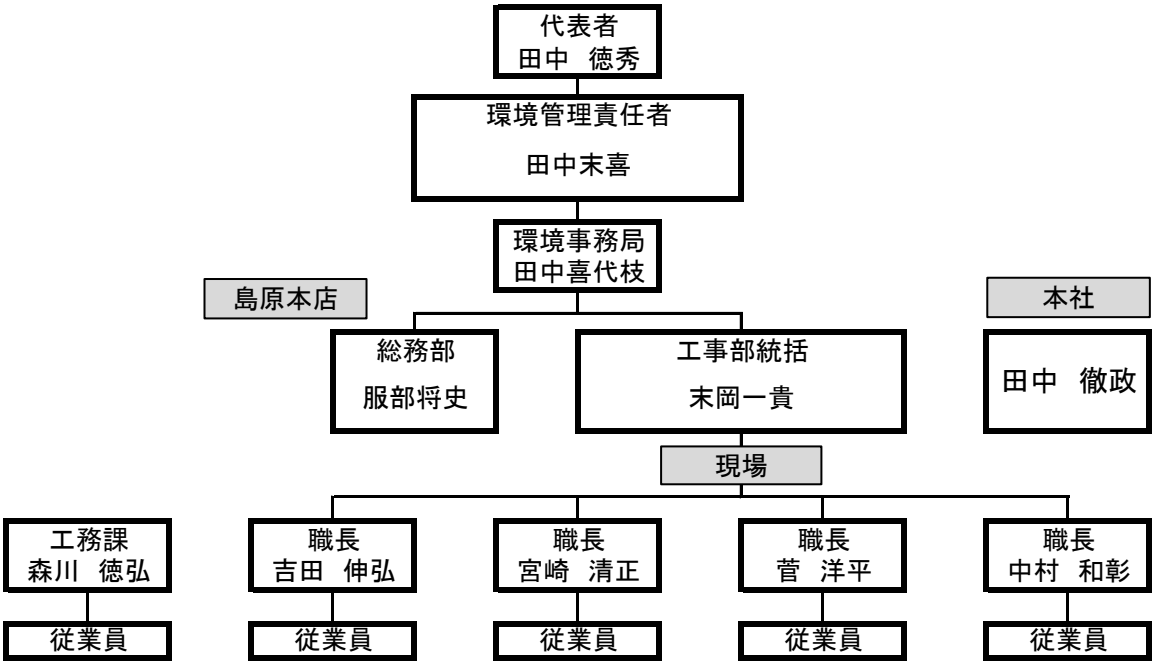
備考：　当社は化学物質の使用はありません。

４. 環境経営計画 （2022年度）

環境経営計画及び具体的取組を次のとおり策定しました。

環境経営目標 取組項目	中期目標 （2021年～2023年）	単年度目標 （2022年度）	担当者	責任者	具体的な取組内容
1，全社二酸化炭素排出量の削減					
1-①電力消費量の削減	3ヵ年で▲3%	▲2%	事務員	環境管理責任者	①空調の適温化（冷房28度、暖房20度）を徹底する。 ②使用頻度が低い部屋等の照明及び空調は、使用時のみ点灯する ③夏期におけるクールビズ、冬季におけるウォームビズの推進
1-②化石燃料消費量の削減	3ヵ年で▲3%	▲2%	作業員	環境管理責任者	①通勤に限らず、現場へ行く際にも、出来るだけ乗合いを行う。 ②社用車を新規購入の際には、ハイブリッド車への切り替えを行う。 ③エコドライブ(急発進・空ぶかしの排除、駐車場でのエンジン停止)の推進
2，廃棄物排出量削減及び省資源					
廃棄物排出量の削減推進	排出物の分別と排出量の数量管理を行う。		事務員 作業員	環境管理責任者	①資材発注時に、設計図等をチェックし、残余資材の発生を防止 ②仮設資材等を再利用し、長期有効利用できるように配慮 ③発生した残余資材を再使用できるよう配慮する。
コピー用紙使用量の削減	目標設定せず 削減活動に努めます		事務員	環境管理責任者	①1枚に2面印刷を心がける ②両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底する
3.水使用量の削減					
水道水使用量削減	3ヵ年で▲3%	▲2%	事務員 作業員	環境管理責任者	①建設現場等や資材置場で使用する水は、河川や雨水等を出来るだけ利用する ②社用車の洗車を必要最小限に留め、節水を推進する ③手洗い時、洗い物においての節水を日常的に行う。
4．自ら施工、提供するサービス					
施工時の緑化推進	目標設定せず 緑化推進に努めます		全従業員	環境管理責任者	①工事依頼があった際には、人や環境に優しい施工や工法を採用する ②周辺への自然環境への影響を最小限に抑える ③周囲の環境に調和した施工を行う

5. 環境経営システム組織図



	責任・権限
代表者 （社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムにおける構築、実施、運用管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門責任者	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

6. 環境経営目標の実績とその評価

当社の環境経営目標の実績とその評価は下記のとおりです。

※2022年度売上高　109,556　万円　　2022年度（2022年7月～2023年6月）

取組項目	単位	2022年度 目標	2022年度 実績	達成率	評価
1.全社二酸化炭素排出量の削減	kg-co2	246,527	413,023.60	76.0%	×
※年間売上高に基づく原単位	kg-co2 /万円	2.867	3.770		
1-①電力消費量の削減	kg-co2	9,614	12904	94.9%	△
※年間売上高に基づく原単位	kg-co2 /万円	0.112	0.118		
1-②化石燃料（ガソリン、軽油、灯油）	kg-co2	236,913	400119.6	75.4%	×
※年間売上高に基づく原単位	kg-co2 /万円	2.755	3.652		
2.廃棄物排出量削減及び省資源					
一般廃棄物排出量削減(総量)	kg	453.8	463.8	98%	△
産業廃棄物排出量削減(総量)	再資源化率	100%維持	100%	分別、削減に努めました。	○
コピー用紙の年間使用量の削減	A4(枚)	7840	115,000	7%	×
	A3(枚)	14700	9,500	155%	◎
3. 総排水量の削減 水道水の削減	㎥	532	579	91.9%	△
4. 自らが施工・提供するサービスに関する項目					
・施工時の緑化推進		工事の計画通り、緑化推進ができました。			○

備考：購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、下記の通りです。
※本社、建設現場：九州電力2019年度0.370kg-CO2/kWh
※島原本店：㈱アイ・グリッド・ソリューションズ2019年度 0.365kg-CO2/kWhを使用しています。

備考：　対象期間内の化学物質の使用はありませんでした。

備考：数値目標：○達成　×未達成

評価の達成率　管理幅	
90%以下	×
90%超～100%	△
100%超～115%	○
115%超	◎

※達成率＝目標値÷実績値×100%

7. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の取組み

評価：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

1-①電力消費量の削減

電気の年間使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価 次年度の取組計画
経営計画		**(達成理由)** 事務所電気使用の際に使用していない場所の電灯消灯などを徹底した。また、太陽光発電から得られる再生可能エネルギーを主に使用し、足りない部分で電力購入を実施した。 **(次年度の取組計画)** 次年度も引き続き、取り組みを行い、残業を極力無くすよう従業員に呼び掛けを行う。
①空調の適温化（冷房28度、暖房20度）を徹底する。	◎	
②使用頻度が低い部屋等の照明及び空調は、使用時のみ点灯する	◎	
③夏期におけるクールビズ、冬季におけるウォームビズの推進	◎	

1-②化石燃料消費量の削減

燃料(ガソリン・軽油)の年間使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価 次年度の取組計画
経営計画		**(達成理由)** 現場への乗り合わせによる車両の燃費効率化など、執拗最低限の燃料使用を心掛けている。 **(次年度の取組計画)** 次年度も引き続き、取り組みを行えるよう従業員に呼び掛けを行う。
①通勤に限らず、現場へ行く際にも、出来るだけ乗合いを行う。	◎	
②社用車を新規購入の際には、ハイブリッド車への切り替えを行う。	◎	
③エコドライブ(急発進・空ぶかしの排除、 駐車場でのエンジン停止)の推進	◎	

2.廃棄物排出量及び省資源

廃棄物排出量の削減推進	達成状況	取組結果とその評価 次年度の取組計画
経営計画		分別、削減活動は定着している。取引先の業者も資源の再生利用を実施している。 **(次年度の取組計画)** 現場の資材等は事前に設計時に必要最低限な材料の準備を行い、無駄がないような取り組みを強化している。次年度も引き続き、取り組みを行う。
①資材発注時に、設計図等をチェックし、残余資材の発生を防止	◎	
②仮設資材等を再利用し、長期有効利用できるように配慮	◎	
③発生した残余資材を再使用できるよう配慮	◎	

コピー用紙の年間使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価 次年度の取組計画
経営計画		活動は定着しているが、元請工事の増加により印刷枚数が増えている。 **(次年度の取組計画)** なるべくミスコピーを減らす努力をしている。次年度も引き続き取り組みを行う。
①1枚に2面印刷を心がける	◎	
②両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底する	◎	

3. 水道水の削減

水道使用量削減	達成状況	取組結果とその評価 次年度の取組計画
経営計画		節水活動は定着している。 **(次年度の取組計画)**・汚れを落とす際に、雨水や河川の水を優先していようすることを推進している。次年度も引き続き、取り組みを行う。
①建設現場等や資材置場で使用する水は、河川や雨水等を出来るだけ利用する	◎	
②社用車の洗車を必要最小限に留め、節水を推進する	◎	
③手洗い時、洗い物においての節水を日常的に行う。	◎	

4. 自らが施工・提供するサービスに関する項目

施工時の緑化推進	達成状況	取組結果とその評価 次年度の取組計画
経営計画		工事毎に緑化を推進できるものは計画に取り入れ施工している。 **(次年度の取組計画)** 法面工事の際には、周囲の自然環境の保全への取り組みを実施している。次年度も引き続き、取り組みを行う。
①工事依頼があった際には、人や環境に優しい施工や工法を採用する	◎	
②周辺への自然環境への影響を最小限に抑える	◎	
③周囲の環境に調和した施工を行う	◎	

【その他環境・従業員への配慮事項について】

1. 長崎県SDGs登録制度への登録

長崎県では、SDGsに取り組む県内企業等を「見える化」することにより、企業等のPRを行うとともに、他の県内企業等へSDGsの取組を波及させることにより、県内企業等の経営強化と地域課題の解決による本県の地方創生につなげることを目的としています。

当社では、事業活動をより環境へ配慮した持続可能な取り組みとして行うものとしてに長崎県の登録制度へ申請し、2022年3月31日に承認されました。

＜SDGs達成に向けてのパートナーシップ＞
地域貢献活動への参加機会を増やすため、道路清掃美化活動や防災ヘルパー活動（山地災害情報の提供、治山施設・地すべり防止施設の点検・報告）への参加、県との防災協定のていけるあんど周辺住民や自治体との関係構築をすでに進めています。今後、周辺住民や自治体との関係構築をより一層深化させていきたいと考えています。

【私たちが行っているウクライナ支援】
2022年11月、一般社団法人国際技術者支援協会に加盟しました。
ロシアの軍事侵攻により、家を追われ、仕事を失くしたウクライナの人たちに仕事を提供することで生活を支援しております。

2022 年 11 月時点での国連の調査によると、1,500 万人以上のウクライナ人が家を追われ、失業し、国内外に避難を強いられております。一方で、18～60歳の男性は徴兵により国外に避難することができません。その妻や娘も“父親や夫を一人だけ置き去りにして国外に避難することはできない”“家族と一緒にいたい”という方も大勢おります。そこで、私たちは、国外に避難できず、仕事を求めている人を対象にテレワークにより、オンライン上で仕事を提供することで支援しております。

2. 健康経営宣言について

『健康経営』とは？
従業員の健康を会社の財産ととらえ、会社の成長のために、従業員の健康づくりに会社が積極的に取り組むことをいいます。
当社では、従業員に心身共に健康な状態で業務に取り組んでほしいことから、長崎県の健康経営宣言に2021年5月19日登録いたしました。
引き続き、従業員の健康に配慮した経営を目指します。

3. 全社員参加の安全大会実施について

当社では、緊急時の対応訓練として毎年、全従業員参加による「安全大会」を実施しています。
今期は、2023年6月30日に訓練と講習を実施しました。

参加人数：40名

8. 年間の環境負荷の推移(2022年度、用途別)

1-1電力消費量の削減

①本社　事務所

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
kWh	470.00	475.00	519.00	482.00	522.00	597.00	510.00	501.00	499.00	522.00	469.00	463.00
kg-CO2	173.90	175.75	192.03	178.34	193.14	220.89	188.70	185.37	184.63	193.14	173.53	171.31

購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、九州電力の2019年度0.370kg-CO2/kWhを使用

②本社　事務所(低電圧)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
kWh	157	118	66	1	62	219	272	180	104	14	2	52
kg-CO2	58.1	43.7	24.4	0.4	22.9	81.0	100.6	66.6	38.5	5.2	0.7	19.2

購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、九州電力の2019年度0.370kg-CO2/kWhを使用

③島原本店　事務所

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
kWh	1,115.00	891.00	442.00	494.00	686.00	687.00	850.00	662.00	400.00	286.00	314.00	510.00
kg-CO2	407.0	325.2	161.3	180.3	250.4	250.8	310.3	241.6	146.0	104.4	114.6	186.2

購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、㈱アイ・グリッド・ソリューションズ2019年度0.365kg-CO2/kWhを使用

④島原本店　事務所(低電圧)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
kWh	831.00	735.00	826.00	742.00	1,037.00	1,350.00	1,356.00	951.00	876.00	615.00	713.00	785.00
kg-CO2	303.3	268.3	301.5	270.8	378.5	492.8	494.9	347.1	319.7	224.5	260.2	286.5

購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、㈱アイ・グリッド・ソリューションズ2019年度0.365kg-CO2/kWhを使用

⑤建設現場等の購入電力

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
kWh	420.00	963.00	841.00	296.00	652.00	1,268.00	1,765.00	1,132.00	457.00	363.00	467.00	1,067.00
kg-CO2	155.4	356.3	311.2	109.5	241.2	469.2	653.1	418.8	169.1	134.3	172.8	394.8

購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は、九州電力の2019年度0.370kg-CO2/kWhを使用

1-2 化石燃料消費量の削減

①ガソリン(車両)　排出係数:　2.32　kg-CO2/L

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
L	4,156.87	4,742.28	4,113.20	4,027.15	4,951.28	5,248.57	4,098.14	5,169.12	5,756.44	3,865.47	3,733.21	4,259.17
kg-CO2	9,643.9	11,002.1	9,542.6	9,343.0	11,487.0	12,176.7	9,507.7	11,992.4	13,354.9	8,967.9	8,661.0	9,881.3

②建設現場等のガソリン　排出係数:　2.32　kg-CO2/L

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
L	0.00	58.40	0.00	0.00	0.00	50.00	61.28	0.00	0.00	50.00	0.00	55.00
kg-CO2	0.0	135.5	0.0	0.0	0.0	116.0	142.2	0.0	0.0	116.0	0.0	127.6

③軽油(車両)　排出係数:　2.58　kg-CO2/L

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
L	3,248.40	3,875.43	18,330.36	2,735.18	5,513.12	4,882.51	2,529.92	5,089.81	3,436.60	2,857.31	2,621.10	3,124.73
kg-CO2	8,380.9	9,998.6	47,292.3	7,056.8	14,223.8	12,596.9	6,527.2	13,131.7	8,866.4	7,371.9	6,762.4	8,061.8

④建設現場等の軽油　排出係数:　2.58　kg-CO2/L

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
L	1,868.90	1,573.06	2,251.11	3,010.83	3,132.27	4,875.51	6,489.39	5,898.65	3,786.98	5,367.20	5,728.00	3,552.09

kg-CO2	4,821.8	4,058.5	5,807.9	7,767.9	8,081.3	12,578.8	16,742.6	15,218.5	9,770.4	13,847.4	14,778.2	9,164.4

P9

⑤ 灯油　排出係数:　2.49 kg-CO2/L

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
L	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
kg-CO2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥ 建設現場等の灯油　排出係数:　2.49 kg-CO2/L

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
L	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	160.00	115.00	132.00	0.00	0.00	0.00	0.00
kg-CO2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	398.4	286.4	328.7	0.0	0.0	0.0	0.0

2. 廃棄物排出量削減及び省資源

A4コピー用紙

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
枚	5,000	15,000	15,000	35,000	0	5,000	0	5,000	15,000	0	5,000	15,000

A3コピー用紙

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
枚	2,500	0	0	5,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000

3.水道水の削減

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
m^3	18.00	19.00	271.00	20.00	19.00	15.00	13.00	146.00	12.00	11.00	15.00	20.00

9－1当社が遵守すべき主要な環境関連法等は以下の通りです。

法規制等の名称	遵守・義務事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	産業廃棄物の委託処理	○
	廃棄物の処理	○
	水銀使用製品産業廃棄物	○廃棄無し
建設工事に係る資材の再資源化に関する法律(建設リサイクル法)	・特定建設資材廃棄物の再資源化 ・分別解体等に伴って生じた特定建設資材廃棄物を再資源化	○
水質汚濁防止法	・特定施設等についての届け出、測定及び記録、排水基準の遵守 ・排出水に含まれる有害物質の含有率についての基準 ・排出水の生活環境項目(pH等15項目)についての基準(1日平均排水量50㎥以上の事業場に適用) ・有害物質使用特定施設等の構造基準の遵守義務	○
大気汚染防止法(大防法)	・該当する施設についての届け出、測定および記録、排出基準の遵守 ・公害防止管理者等の専任	○
騒音規制法	指定地域内で特定建設作業を行う時は、その7日前までに市町村長に届け出なければならない。	○
振動規制法	指定地域内で特定建設作業を行う時は、その7日前までに市町村長に届け出なければならない。	○
労働安全衛生法	統括安全衛生管理者を選任し、安全管理者・衛生管理者または技術的次号を管理する者の指揮	○
	事業者は、労働災害発生の急迫した危険があるときは、直ちに作業を中止し、労働者を作業場から退避させる等必要な措置を講じなければならない。	○
	特定元方事業者は、その労働者及び関係請負人の労働者の作業が同一の場所において行われることによつて生ずる労働災害を防止	○
	クレーンの運転その他施行令で定めるものは、免許を受けた者又は技能講習を終了した者その他厚生労働省令で定める資格を有する者でなければ、業務につかせてはならない。	○
建設業法	1．建設業許可制度、2．請負契約の適正化、3．建設工事の請負契約に関する紛争の処理、4．施工技術の確保	○
環境基本法	・公害防止、廃棄物への対応、リサイクル、行政への協力	○
循環型社会形成推進基本法	・利用、処分に当たっては、技術的経済的に可能な範囲で、環境への負荷の低減に最大限努める。	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	事業者および国民は、出来る限り環境物品等を選択するよう努めるものとする。	○
浄化槽法	現場宿舎	○
土壌汚染対策法	指定地域内での土地の改変	○
	3000㎡以上の土地形質の変更	○
消防法（危政令）	アセチレンガス等の取扱い	○
	火気の使用	○
	指定可燃物の取扱い	○
	消防計画	○
環境影響評価法	環境影響評価	○
自然環境保全法	工作物等の設置	○
都市緑地法	工作物等の設置	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）	第1種特定建築物	○
	第2種特定建築物	○
改正フロン排出抑制法	・エアコンの簡易点検実施、記録保存	○簡易点検実施中
	・フロン漏えい時の報告	○フロン漏えいなし

9-2遵守状況の確認評価並びに違反、訴訟の有無

2023年10月2日、『環境関連法規等とりまとめ・遵守評価記録』を用いてその遵守の状況を確認し、上表の評価結果の通り違反はありません。なお、過去3カ年間、関係当局よりの違反の指摘、また利害関係者からの訴訟もありません。

2023年10月2日
環境管理責任者
田中　末喜

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価と見直しの実施日:　2023年10月2日

評価と見直しの期間:2022年7月～2023年6月

使用した文書・記録:当社における環境経営システム文書・記録

参加者:代表者、環境管理責任者、環境事務局

≪評価と見直し結果≫

①環境経営方針

・環境経営方針(改定:2019年7月1日)を最新版とし、特に変更する点は無し。来年度も継続して適用する。

②環境経営目標

・環境経営目標及びその実績に記載

③環境経営計画

・環境経営計画書の取組結果とその評価に記載

④実施体制

・現状の体制を継続する。

⑤環境関連法規等の遵守状況

・環境関連法規の取りまとめを行い、一覧を作成している。2022年度においても、法規制の遵守を行っていることを確認した。

⑥外部対応表の結果

外部対応として、現場ごとに対応した記録は現場日報等に適宜記録をしている。

⑦その他環境経営システムに関する事項

【要求事項10. 環境上の緊急事態への準備及び対応】

日頃の業務において、現場へ社長自らが出向き、安全確認や状況を確認している。

【総括】

当年度は中期目標の2年目にあたり、環境負荷に関する数値測定を行った。環境経営目標達成状況としては、元請け工事の件数増加に伴う必要資源の増加等が見られるが環境負荷と売り上げの比率など考慮した結果、二酸化炭素排出量に関する項目、コピー用紙の使用枚数などの目標値達成を成すことが難しい項目があった。従業員に対して火災における緊急時の訓練を実施した。従業員自ら率先して実施できる研修を行っている。また、地域への貢献活動として清掃活動等を各現場で実施している。

引き続き環境経営システムの取り組みを継続する。

2023年10月2日

田中工業株式会社

代表取締役　　田中　徳秀